令和６年度

学校評価シート（自己評価）

新明幼稚園

１、園の教育目標

恵まれた自然環境の中で徳・体・智の幼児教育を目標とする

＜目指す子ども像＞

① 、情操豊かな幼児（思いやりのある子）

② 、心身ともに健康な幼児（心も体も健康な子）

③ 、理解力の深い幼児（話をよく聞き、考える子）の育成をめざして保育に取り組む

２、具体的な目標や計画

（１）「早寝・早起き・朝ごはん」に対する保護者の意識を深め、家庭での実践につなげていく

（２）「歩いて育てる心と体」の実践を積み重ねる

・身近な公園や小学校への散歩を通して、地域とのつながりを深める

（３）特別な支援が必要な子（障害のある子・外国籍の子）への対応と保護者との連携の強化を進める

３、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果（※）	結果の理由
保育の計画性と指導の見直し	A	令和５年度と同様に夏祭り、運動会、発表会、もちつき、カレーパーティ、卒園式を実施することが出来た。園児の活動として無理なく一人一人が充実出来る内容だったため、楽しく活動することが出来た。
園内研修の充実を図る	C	保育者間の足並みがそろわず、定期的に研修をすることが出来なかった。
教職員間の連携	B	必要に応じて報告、連絡しあうことで園児の共通理解に努めることが出来た。
保護者との連携、関係づくり	B	連絡帳の活用や子どもの成長している様子を伝えることで、信頼関係に努めることができた。

４、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結　果	理　　由
B	令和４年・５年度に続き園行事や保育活動を実施することが出来た。 どの学年も日常的に公園や近くの小学校への散歩に出かけて「歩いて育てる心と体」の実施に努めることが出来た。

〇結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

５、今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取り組み方法
園内研修の充実と保育者間の共通理解	園児についての報告や連絡について定期的に話し合う 無料のオンライン研修や専門書の活用を通して幼児理解に努める
保護者との連携及び関係づくり	必要に応じて面談を行い、家庭の様子を知ることで、信頼関係を築いていく
支援が必要な子（障害を持つ子、外国籍の子）への対応	専門家の巡回相談でのアドバイスを参考に、保育者間の共通理解を図る。 家庭との連携を密にすることでより良い対応につなげていく。